わか菜の杜

○挑戦の始まりと広がり

ノウフクを始めたきっかけは、2000年に製造業の事業所として立ち上げたアクティブ鈴鹿で、多くの利用者から「本当は別の仕事に就きたかったけれど、障がいがあるから諦めた」という声を聴いたことでした。そこで、1次産業や3次産業の事業所も立ち上げ、利用者が自分に合った仕事を選ぶことができ、イキイキと働ける職場づくりが始まりました。
2007年には、農業分野で障がいを持つ人でも働ける職場づ くりを目指して勉強会を立ち上げ、翌年のリーマンショックを好機と捉え、「食の事業はなくならない」という信念のもと水気耕栽培に取り組み、「わか菜の杜」が誕生しました。

○広がる圃場・広がる可能性

今年2025年からは稲作にも挑戦し、圃場の規模は年々大きくなっています。その一方で人手不足という課題も抱えていますが、出勤率は他の事業所と比べても非常に高いのが特長です。
「大変だけど仲間と一緒に仕事ができるのが楽しい」「育てた作物を収穫して味わえるのがうれしい」――そんな声に支えられながら、一人ひとりがやりがいをもって働いています。

○理事長とともにこれからも

わか菜の杜の未来は、理事長だけでなく利用者や職員の思いを形にしていくことにあります。これまでも、理事長が実現したいと願ったことは一つひとつ形となり、私たちの事業の柱となってきました。
その姿に共感し、支えられてきたからこそ、私たちはこれからも理事長とともに歩み、挑戦を続けていきたいと考えています。利用者の方と仲間たちがイキイキと働ける場をさらに広げながら、未来に向けて新たな一歩を踏み出していきます。

-学生の声-

お話を伺う中で、思い描いた未来を実現する理事長にこれからもついていきたいという強い思いに深く感銘を受けました。「やりたいと思ったことを必ず形にする」という言葉の通り、その思いが今の活動に繋がっているのだと実感しました。また、利用者や従業員の皆さんが「仲間と働くことが楽しい」と語っていて、職場の温かみが感じられました。

就労継続支援B型事業所　わか菜の杜
鈴鹿市若松西1-21-11
☎・Fax 059-389-6767